

平成29年度 東京都立板橋高等学校 学校経営計画

東京都立板橋高等学校長
川口 元三

目指す学校像	本校の教育目標 ① 個性や能力を伸ばし、生徒一人一人の自己実現を援助する。 ② 自主性を大切にし、実行力と創造性に富んだ生徒を育てる。 ③ 健全な心身の成長を促し、社会的責任を自覚した生徒を育てる。 ④ 学ぶ喜びを体験させ、生涯にわたって学ぶ意欲・態度を培う。 教育目標を実現し、変化の激しいこれからの社会を生き抜く、知・徳・体のバランスのとれた人間を育成する学校を目指す。			
中期的目標と方策	「センター学力向上推進校」として、「板橋再生プログラム〈名門復活〉」の開発、実践を継続し発展させる。 ① 「確かな学力」向上プログラム—教科主任の活用、教科会の充実 ② 「豊かな人間性」育成プログラム—社会貢献の推進 ③ 「健康・体力」向上プログラム—部活動・特別活動等の充実 生徒及び保護者の満足度の高い学校づくりを推進し、地域との連携を強化し、地域から信頼される、地域に貢献する人間を育成する。			
各組織		今年度の取組目標と方策	今年度の重点目標	関連する数値目標(28年度実績)
学校全体	組織的学校の経営の推進 PDCAサイクルに基づくマネジメントシステム 「チーム板橋」 学び続け、協働する教職員	<ul style="list-style-type: none"> 企画調整会議 戦略検討。 主幹会議 主幹教諭5名の連携・協力、学校改革牽引 主幹教諭、主任教諭21名によるミドルマネジメント 教職員の情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有化 報告・連絡・相談の徹底、ネットワーク職員室共有フォルダの活用、資料、記録等の即時回覧。 電子起案の推進 分掌、学年、教科間の連携強化、校歌の浸透 	
	系統的なキャリア教育の推進 進路指導部が方針を立て、主導し、学年・教科と連携・協力して取り組む	<ul style="list-style-type: none"> 生徒情報の共有化 一人一人の生徒の学習状況把握(入学から卒業までの推移データの整備・活用)ときめ細やかな対応 上級学校説明会等への学年積極的参加、情報収集・活用 ガイダンス、個別相談の充実。 同窓会との連携 講演会社会で活躍する/してきた卒業生を講師として招聘。 「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> センター試験受験クラス 目線合せの拡大。 自習室の活用促進 学習合宿の充実 志望理由書、小論文・作文指導の強化 フィッシュボム活用による個別指導 三者面談の充実 大学入試センター試験問題の分析、データベースセンター TenS の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 同窓会と連携した講演会 自立支援教育プログラムの活用 1、2学年5回(28年度1学年5回、2学年1回)
	募集・広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校の特色のより一層の明確化 入学者選抜(文化・スポーツ等特別推薦を含む)の評価・検証及び改善 情報発信の工夫・改善(「学校案内」の刷新、ホームページの充実、適時適切な更新) 家庭・地域等の本校に対する要望の把握及び対応 	<ul style="list-style-type: none"> 全校体制の継続 夏季休業日中の学校見学 平日毎日実施(日直対応)。 合同説明会等外部会場への一人1回以上参加 塾訪問一人2塾以上。 学校説明会、個別相談会の充実 中学校との連携強化 新入生対象入学アンケート調査実施。本校に対するイメージの把握、次年度募集対策への活用 	<ul style="list-style-type: none"> 塾訪問数100塾以上(28年度143塾/46名) 中進対1.0倍以上(28年度1.50) ●入学者選抜1次最終応募倍率1.35(28年度1.53) 入試対策講座5教科2回(28年度5教科2回) 文化祭(一般公開)来校者数1,300名以上(28年度1,755名) ホームページ更新 200回以上(28年度245回)
	教育公務員としての高い使命感・倫理観、服務規律の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 服務規律の徹底 校内規定の整備 情報資産の管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の保護、管理の徹底 クレーシスの励行 「4S」(整理・整頓・清掃・清潔)の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 服務事故防止研修4回(28年度4回) 服務事故ゼロの継続
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域に開かれた学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 都立学校開放事業実施 小・中学校等との連携 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共機関との連携による生徒の健全育成 ・日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・JET 青年派遣の活用 	
	教育環境の改善・充実 校舎改築及び創立 90 周年等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な教育環境の改善、地域の期待に応える学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設校舎の不具合等の解消 ・新校舎建設、初度調弁 	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎落成・創立 90 周年式典の準備委員会発足
	計画的、組織的な人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT、校内研修の充実 ・教員の授業力の向上 ・教員相互の授業参観の充実 ・「平成 29 年度教職大学院連携協力校」としての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の充実 ・AL を導入した授業、ICT を活用した授業 ・授業見合おう旬間 6 月中旬、11 月中旬 ・紀要『飛翔』発行 ・早稲田大学教職大学院学校臨床実習(国語、世界史)受入 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修(講師招聘) 1 回実施 ・研究授業・研究協議 各教科 1 回(新規) ・〇〇大学入試問題研究及び生徒対象講習 ・授業見学 年間 4 時間以上(28 年度 25.0%)、「この授業を見よう」
教科	学力向上 体力向上 指導と評価の PDCA サイクルにより、授業改善を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・学力スタンダード作成及び組織的・効果的な指導 ・教科会(月 2 回)の充実、教科主任会(月 1 回)定例開催、充実 【自主学習時間の伸長】 ・土曜講習の充実 ・読書活動の推進、言語活動の充実—書評合戦等 ・ICT 機器等を活用した効果的な教科指導の工夫 ・英語教育の改善・充実—JET、ALT の活用— ・リビッパ・パルビッパ教育の推進 5 つの資質の育成(全教科合計、年 35 単位時間) ・主権者教育の推進(地歴・公民科等) ・体力・運動能力の向上 ・体力テスト(5 月中旬)実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査実施、結果分析、追指導による学力の確実な定着 ・AL の研究と実践。 ・【授業のポイント】 授業規律、身に付けさせたい力の明確化、知識・技能の徹底、思考力・判断力・表現力の育成、学習意欲・気付きの重視、進捗、指導と評価の一体化 ・学年との連携 ・週末課題、小テスト等実施。 ・読書の全校的、継続的奨励 ・読書感想文コンクール ・スピーチ発信 ・世界ともだちプロジェクト(グループ 37) 交流 ・体力テスト事前指導徹底 ・全学年前年度を上回る 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査得点 50%以上 ●生徒による授業評価(肯定的評価) 75% (28 年度 1 学年 83.1%、2 学年 73.3%、3 学年 76.6%) ・長期休業日中の講習 延べ 300 時間以上(28 年度 301.5 時間) ・土曜講習参加者 延べ 2000 名以上(28 年度 2,509 名) ・本校図書館の貸出冊数 3,000 冊以上(28 年度 5,870 冊) ・不読率 35%未満(28 年度 都の調査なし) ・英検、漢検の合格者数 30 名以上(28 年度英検 6 名、漢検 0 名) ・ニュース時事能力検定 ・「アクティブプラン to2020」目標値達成 3 級 9 名
学年	在り方生き方を考えさせる 基礎的・汎用的能力の育成 自己実現に向けての指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム活動、総合的な学習の時間等を通じて、在り方生き方を考えさせるとともに、「基礎的・汎用的能力」を身に付ける意義を繰り返し理解させる。 ・語彙・読解力検定(1、2 学年) ・週末課題(1、2 学年) ・分野別指導、志望理由書作成指導、小論文指導(3 学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 学年びな合宿実施(高校における学習内容・学習方法、自主学習の重要性等の確認) ・朝学習、放課後講習。 ・自習室開設、活用促進。 ・残勉(定期考査前学校で学習)1、2 学年 ・新教科「人間と社会」の計画、実施。 ・今⇄未来手帳の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・自習室開室 180 日以上(28 年度 1 学年 40 日、2 学年 190 日) ・語彙・読解力検定 1 学年 3 級合格 30%以上 2 学年準 2 級合格 15%以上、3 級合格 35%以上(28 年度 1 学年 3 級合格 40.6%、2 学年準 2 級合格 39.7%) ・拡大学年会各学期 1 回(3 学年 3 学期なし)。
教務部	学習習慣の確立—自主学習時間の伸長— 生徒一人一人の「確かな学力」の定着と伸長 方針を立て、主導し、学年、教科と連携・協力して取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と生活の時間の自己管理(記録)指導 ・定期的な自主学習時間調査 ・生徒による授業評価の実施及び結果分析年 2 回 ・教育課程の評価・検証・改善 ・授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業日中の組織的な補習、講習 	<ul style="list-style-type: none"> ●自主学習時間 1 日 1 時間以上 70% (28 年度 1 学年 62.0%、2 学年 68.8%、3 学年 53.0%)
生徒部	規範意識の向上 生活指導指針に基づく指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「身に付けさせる規律・規範の全体計画」に基づいて、遅刻防止、服装・身だしな 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動目標:5 分前集合 ・授業開始のチャムとともに授業開始、「時間を守る」意識 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻者 6.0%以下(28 年度 1 学年 4.3%、2 学年 4.7%、3 学年 10.0%)

	方針を立て、主導し、学年、教科と連携・協力して取り組む。 安全教育の推進(生活安全、交通安全)	み指導の徹底を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行、マナー尊重の精神の育成 ・校内外の巡回を定期的に行う ・セーフティ教室、薬物乱用防止教室の充実(危険ドラッグ等) ・情報モラル教育の推進 ・部活動、生徒会活動及び学校行事の充実・振興 「平成29年度体力気力鍛錬道場(部活動推進指定校)」 としての取組 <ul style="list-style-type: none"> ・部活動推進と体力向上 ・体罰禁止・根絶 ・定期的な部活動調査(部員数、活動状況、活動の成果等) ・地域行事への積極的参加 	の向上。 <ul style="list-style-type: none"> 遅刻のデータ集計、報告。 ・スカウト指導の強化(課題：化粧) ・行動目標：挨拶励行、自転車走行時傘差し、竹む使用厳禁の徹底 ・全教員の組織的な取組による部活動指導強化 ・部活動顧問による部員の学習、生活指導への積極的な関与 ・文化・スポーツ等特別推薦実施種目を牽引役とした部活動の活性化 ・部活動生徒等を核とした奉仕的活動の充実、地域との連携の深化 ・1学年生徒部活動加入促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校評価アンケート(マナーやルールの遵守)(地域の否定的評価) 20%未満(28年度否定的評価13.9%) ・女子制服スカート丈改造ゼロ ●1学年生徒部活動加入率 85%(28年度4月81.6%、9月、1月は実施せず) ・部活動定着率70%以上 ・体罰ゼロ ・中部フェスタ(10/16 鷲宮高校) 企画・運営への教員、生徒参画(28年度教員、生徒各2名)
進路指導部	生徒一人一人に応じた適切な進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・第一志望の実現 ・進路情報の提供 ・望ましい勤労観・職業観の育成 ・学校外の学修—保育園実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学、就職希望者に対するきめ細かな指導 ・進路の手引きの充実 ・進路だより定期的発行 ・1学年進路希望、2、3学年第一志望の明確化 1、2学年年末までに75%、3学年1学期末までに100%。 ・進路変更の減少 ・大学一般受験の奨励、増加 ・理科系進学指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●4年制大学進学率 40%(28年度40.0%) ●日東駒専以上現役合格 10名(28年度13名) ・国立大学1名合格(28年度0名) ・就職内定率 100%(28年度100%) ・進路未決定者 10%未満(28年度12.6%)
保健庶務部	心身の健康づくりの推進 いじめの総合対策に基づいた対応 安全教育の推進(災害安全) 社会貢献の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・(保健)健康づくりの推進 アレルギー疾患対策 ・(美化)校内・外の環境美化とリサイクル意識の育成 ・不登校・中途退学の防止 ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応 「いじめ対策委員会」を核とした取組を行う。アンケートを年間3回以上実施する。 教育相談体制の強化 ・防災教育の推進 「自助」「共助」の精神に基づいて適切に行動できるようにさせる。 ・奉仕体験活動の推進 ・PTAとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医等との連携強化 EHP使用の研修等 ・ゴミ分別の指導の徹底 ・スクールカウンセラー等との連携による相談しやすい学校づくり 対象生徒面接 ・関係機関と連携した防災教育の推進 ・防災活動支援隊の活動の充実 ・「防災ノート」の活用 ・地域の資源、教育力を生かした奉仕の実施。 ・地域清掃3回の充実 ・板高シボジムの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・上級救命講習1学年生徒全員受講(26、27、28年度1学年生徒全員)
経営企画室	適正な予算執行と更なる経営参画 教育環境の更なる整備、充実	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎内外の安全な環境整備 ・事務(経理・庶務・サービス・学事)の適正な処理 ・改築に係る円滑な連絡・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の「顔」としての役割、電話対応や接遇の改善、充実。 ・自律経営推進予算の適正な編成、執行、センター執行の増加、予算の有効活用。 ・施設・設備の定期点検、教育環境の整備 	

●平成25年度重点支援校指定期間(平成25年7月から28年3月末まで)から継続の取組